

臨床検査管理学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 丸川 活司(医療技術学部) 高橋 祐司(医療技術学部) 山崎 智弘(医療技術学部)
田中 浩樹(特別講師) 徳保 裕美(特別講師) 恩田 和人(特別講師)
八木亜希子(特別講師) 佐々木由紀(特別講師) 石田 真人(特別講師)

【概要】

検査結果あるいは分析結果の精度を保証するためには、その工程すべてを範囲とした品質保証体制の確立が必要となる。本講義では、検体検査、生体検査における精度管理、品質保証、認証制度について学び、臨床検査の品質保証を理解するとともに、急速な検査技術の進歩や医療環境の変化にも即応できる臨床検査技師としての知識を習得する。臨床検査技師を目指すにあたり、臨床検査技師の国家資格をもち様々な分野で活躍する特別講師から、そのそれぞれの分野における精度管理、品質保証についても知識を習得する。早期に臨床の現場へ赴き、その実態に触れることの意義は大きい。本講義では、臨床検査関連施設の見学をおこない、予防医学や健康診断の重要性と臨床検査との関連性を学ぶ。

【学修目標】

- 1) 検体検査、生体検査における精度管理、品質保証、認証制度について理解する。
- 2) 各種医療現場における役割と精度管理、品質保証について理解する。
- 3) 臨床検査技師として様々な分野で活躍することが可能であることを知る。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

丸川活司(臨床検査技師)、高橋祐司(臨床検査技師)、田中浩樹(臨床検査技師)、恩田和人(臨床検査技師)、八木亜希子(臨床検査技師)、佐々木由紀(看護師)、石田真人(警察官)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、高度に専門化し複雑化した医療の分野にあたり、専門職業人としての理念と方法、その具体的な実践に関して講義する。